

7カ月ぶりの定期試験

明日から始まる1学期期末試験。コロナ禍に伴う臨時休校の影響で、昨年度の学年末試験と今年度1学期中間試験が中止となりました。実に7カ月ぶりの定期試験となります。

4月入学と共に休校になった1年生、義務教育ではない高校で初めてのテストです。中学校はたとえ受験できなくても、授業の多くを欠席しても、進級も卒業もできました。高校は異なります。

2・3年生、去年12月の期末試験以来、半年以上間隔が開いてのテストになります。感覚が取り戻しづらい面もあると思います。**ミスに気をつける**ことを、**これまでの倍くらい意識**しましょう。3年生にとっては指定校推薦等に活かせる最後の機会、自分の力を遺憾なく出し切りたいと願っています。

進路室にて

お昼休み、放課後、進路室には生徒の姿が多く見られます。三者面談が終わり、自分の進路希望を決めるための資料閲覧が中心です。全国の大学・短大や専門学校から送られてきた学校案内、入試要項や各企業から届いた求人票などの資料等、進路室には最新の情報がたくさん届きます。

一方で、そういう送られてきた資料以上に見えて

たものがあります。それは、卒業した先輩たちが書き残してくれた**「受験報告書」**です。これがとても頼りになるようです。面接の形態、質問内容、実施時間等々、**実際に市柏の先輩が体験して綴ってくれた**ものは、二つとない貴重な資料になっています。時折自分が希望する学校にそれが無いことを不満げに報告に来ることもありますが、報告書はあることが当たり前ではなく、先輩たちがみなさんのために残してくれたおかげで存在するのです。卒業生への感謝を忘れず、大切に見させてもらいましょう。

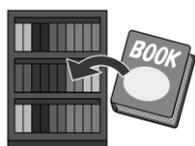
在校生のみなさんも、自分が受験した際は是非書き残してください。その折は先輩たちのために、心のこもったメッセージも添えて。

お願い

進路室の資料は多くの人が必要としています。探しやすいように大学・短大・専門学校別「あいうえお順」に並べてあります。ここでお願いがあります。

使った資料は

もとの場所に「戻す」



ことを実行してください。進路指導部でも生徒のみなさんが探しやすいようにそろえ直しています。でも**追いつかない**のが現実です。本棚が乱雑になり、何でこの学校がこの場所に…、ということが多々あります。**資料は大勢が使う公共のもの**であることを、どうか意識できる人になってください。

資料閲覧の他にも、進路相談、面接練習、書類の書き方…と、様々なことに進路室を活用しています。生徒のみなさん、これからも進路室を大いに活用してください。

文系と理系

本校では普通科が、一般クラス文系・理系・音楽・体育、総合進学クラス文系・理系、国際教養クラスに分かれています。国際教養や音楽、体育はかなり明確な意思を持って選択すると思いますが、それに比べると文系・理系の選択はやや消極的な感じを受けています。文学や歴史を学びたい、数学や化学を学びたい、そういう積極的な動機で選んでいますか。文系を選んだ理由が「数学から逃れる」であったり、「文章を読むのが嫌」だから理系を選んだという人はいないでしょうか。消極的な理由で選んでしまうと、一番自分を磨ける一度しかない高校時代が実に勿体ないと思います。

昨今は文系でも数学ができる人材が求められますし、数学があるから進路選択ができないのは寂しいことです。文系でも数IIを履修するのは大事な気がします。まして理系に進んだけれど計算ができない、これでは授業が辛いだけではないでしょうか。3年生でも進路先はまだ変更することはできます。自分の適性を見つめ、その上で自分が輝ける可能性が高い道を選んで欲しいと願っています。

○指定校公開予定日 7月28日(火)